

小笠原国立公園

公園区域及び 公園計画の変更 (再検討)

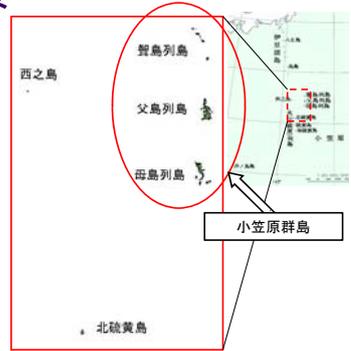


この資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の8万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平21東様、第17号)

1

国立公園の概要

- 位置 東京都小笠原村
- 東京から南に1000km
亜熱帯の島々
- アクセスは船(6日に1便)のみで東京から25時間30分
- 面積 6,629 ha
- 区域
聳島列島、父島列島、母島列島からなる小笠原群島、北硫黄島及び西之島から構成される。



2

小笠原国立公園の沿革

- ◇第二次世界大戦により、小笠原が米軍に占領され、住民の大多数は帰島を許されなかった。
- ◇昭和43年6月26日 小笠原諸島が日本に返還され、住民が父島に帰島開始。
- ◇**昭和47年10月16日 小笠原国立公園指定**
- ◇昭和50年5月17日 南硫黄島を原生自然環境保全地域として分離

※この後、全体的な見直しは行っていない。

3

小笠原国立公園の自然風景の概要

- ◇変化に富んだ島しょ景観
- ◇地球史を語る地質
- ◇一度も大陸とつながったことのない「海洋島」において、独自の進化を遂げた生物相と生態系
- ◇海域に生息する多様な生物

4

小笠原国立公園の代表的景観



小笠原国立公園の代表的景観



小笠原国立公園の代表的景観・地質



小笠原国立公園の代表的景観・地質



小笠原国立公園の森林



9

小笠原国立公園の代表的植物



小笠原国立公園の代表的動物(陸域)



小笠原国立公園の代表的動物(海域)



小笠原国立公園の代表的動物（海域）



アカオネツタイチョウ

クロアシアホウドリ

オナガミズナギドリ

アホウドリ(亜成鳥)

3

小笠原国立公園の代表的外来生物



ネコ

オオヒキガエル

ノヤギ

ニューギニアヤリガタリクズムシ

ノブタ

グリーンアノール

アカギ

見直しのポイント

- ① 海洋島の独自の生態系に着目した、陸域の公園区域の拡大・保護の充実
- ② 海域の公園区域の拡大・保護の充実及び適正な利用の推進
- ③ 外来種への対応

15



公園区域の変更

ポイント1
海洋島の独自の生態系に着目した、陸域の保護の充実

6

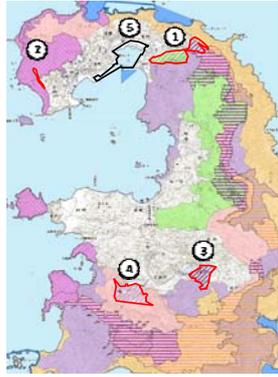
公園区域の変更（父島）

<区域拡張>

- ①乳頭山 16ha
- ②三日月山 1ha
- ③時雨山 9ha
- ④北袋沢 16ha
- 合計 42ha

<区域削除>

- ⑤二見港



公園区域の変更（父島）

<区域拡張>

- ①乳頭山 16ha
- ②三日月山 1ha
- ③時雨山 9ha
- ④北袋沢 16ha



公園区域の変更（母島）

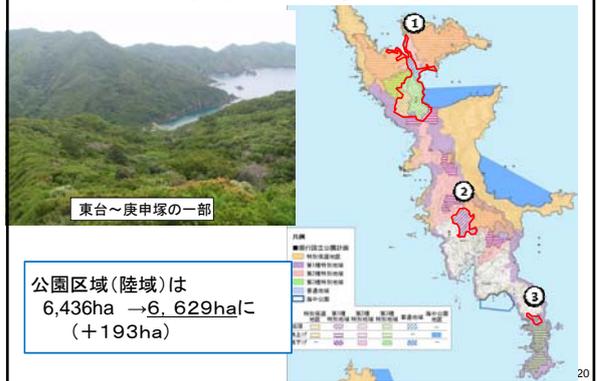
<区域拡張>

- ①東台～庚申塚 115ha
- ②蝙蝠谷 29ha
- ③南崎 7ha

合計 151ha



公園区域の変更（母島）



公園区域（陸域）は
6,436ha → 6,629haに
(+193ha)



保護規制計画の変更

有人島である父島、母島以外の島々
全域を特別保護地区に変更

- 聳島列島（聳島、媒島）
- 父島列島（弟島、兄島、西島）
- 母島列島（姪島、妹島、姉島）
- 西之島
- 北硫黄島

22

